

# データ通信による監視カメラシステムでネットワークのない場所の防犯を実現

安心・安全を支えるカメラ監視システムをOpenBlocksで提供

概要

セキュリティの基本は「狙わせない・侵入させない」という「予防」にある、とセキュリティ専門企業であるセキュリティハウスTOPは考えている。そこで遠隔監視アプライアンスを開発したロジックベースとともに「泥棒に狙われない環境を作る」ためのシステムとして、防犯カメラを固定回線なしで使用できる監視カメラシステム「モバイルネットワークアダプタ」を開発、販売した。

## セキュリティハウスTOP(株式会社トップ)

<http://www.securityhouse-top.jp/>

名古屋市に本社。防犯セキュリティ商品の販売・施工・保守を中心に通信機器・ネットワーク機器の販売、ソフトウェア販売やシステム構築を行う。防犯のプロとして夫々の顧客に最適な防犯対策を提供する。

### 固定回線が不要な監視カメラシステム「モバイルネットワークアダプタ」

セキュリティハウスTOPは、安心・安全を「ヒト任せにしない」「自分で守る」ための警備システムの一環としてネットワークのない拠点や屋外でも使用できる、データ通信端末を使用した監視カメラシステムの開発にあたった。そこで目を付けたのがロジックベース社の OpenBlocks 600 を使用したボイラー設備の無線遠隔監視システム「モバイルカメラサーバ MCV2/600EM」であった。

モバイルカメラサーバ MCV2/600EM はデータ通信アダプタを使用した監視システムである。回線工事が不要であるため設置が容易な上、OpenBlocks 600 の堅牢な動作保障により、当初の目的であったボイラー設備の監視のみならず、災害現場や工事現場の監視カメラ、観光地のライブ映像の公開、貨物自動車の積載状態の監視など広範な用途に活用されていた。

このロジックベースの技術とセキュリティハウスTOPの防犯セキュリティの実績により2012年10月に誕生したのが「モバイルネットワークアダプタ STM-Pro・STM-Lite」である。



モバイルネットワークアダプタ STM-Pro / Lite

### データ通信端末を使用し防犯カメラの映像をリアルタイムに配信

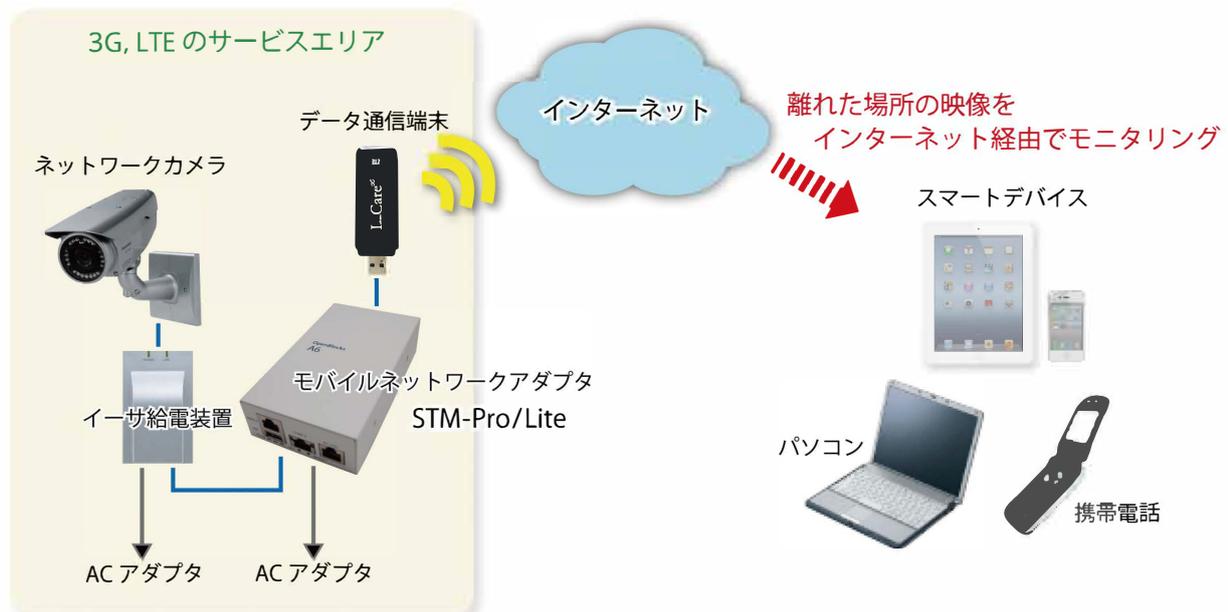
モバイルネットワークアダプタ STM-Pro・STM-Liteは、3GやLTEにつながるエリアであれば電源を入れるだけで自動的にインターネットに接続し、ネットワークカメラの映像をリアルタイムでパソコンや携帯電話、スマートデバイスに送信する(※携帯電話は静止画のみ)。もちろん、プロバイダや固定IPアドレスを含む固定回線は不要だ。

モバイルカメラサーバ MCV2/600EMをアップグレードし、STM-Proではネットワークカメラまたはデジタルビデオレコーダを最大4台まで設置が可能となり(STM-Liteは1台)、警報受信機やリポーター<sup>®</sup>にも対応している。

映像はWEBブラウザでモニターでき、予めメールアドレスを設定すると、設定した間隔で静止画像(JPG画像)をメール送信することもできる。

「設定は管理画面から簡単に行えます。余分なルーチ機能を排除し複雑なコマンドをたたく必要はなく、誰もが簡単に設定できます。また遠隔側からの設定も可能にしました。」(ロジックベース 代表取締役 樋口昭夫氏)

『リポーター<sup>®</sup>』は明京電機株式会社の登録商標です。(商標登録第5590686号)



## OpenBlocks A6で設置も 運用も手間いらずに

運用開始だけでなく設置や運用中の手間もごく僅かだ。OpenBlocksの最新機種であるOpenBlocks A6を採用したモバイルネットワークアダプタSTM-Pro・STM-Liteは、モバイルカメラサーバ MCV2/600EM同様、手のひらサイズでコンパクトな上、通常のAC電源さえあれば稼働でき、ポールを組み立てて取り付けるだけの簡単設置・簡単撤去で、「10分で設置完了・監視がスタートできます。」(樋口氏)

工事現場など短期間の現場の場合でも専用の設置場所を作る必要はなく手軽に設置できる。また、HDDや冷却ファンなどの故障要因を徹底排除して実現した優れた耐熱・耐塵設計も継承しており、屋外でも手間いらずで安定した運用を実現している点も高い評価を得ている。

「OpenBlocks A6の採用はぶらっとホームの信頼性とブランド力が決めてでした。OpenBlocks 600は数年ほど使用していますが、故障もないですし、お客様からも『OpenBlocksなら安心だね』との声をいただいています。」(樋口氏)

### 固定カメラ監視の機器構成図



### 防犯に適した機能も装備

こうした容易な導入プロセス、手間いらずの運用に加え、セキュリティ TOPの防犯のプロとしての視点も生かし、モバイルネットワークアダプタSTM-Pro・STM-Liteには次のような機能も追加された。「今までは、固定回線が施設されていない場所において、セキュリティシステム構築ができなかったり、万一の際の録画映像を確認したい場合は、現地に行ってハードディスクレコーダーを操作する必要がありました。STM-Pro・STM-Liteは固定回線が施設されてなくても、異常時の通知→リアルタイム映像確認→過去映像確認の3拍子が可能となりました。これは他社の製品ではできません。」(株式会社トップ 開発企画本部 マネージャー 防犯アドバイザー 本橋登美雄氏)

この機能により、送られてきた静止画を後から確認して何か不審なことがあった場合には、その場ですぐに過去の動画を確認することなどができるようになった。



左：有限会社ロジックベース  
代表取締役 樋口昭夫氏

右：株式会社トップ  
開発企画本部 マネージャー  
防犯アドバイザー  
本橋登美雄氏

現在、本橋氏はハイエンドモデルであるOpenBlocks AX3の評価も検討している。今後もロジックベースのマイクロサーバとインターネットを利用した技術とともに「泥棒に狙われない環境を作る」ための製品開発を行っていくという。